

## 音楽人材の育成について

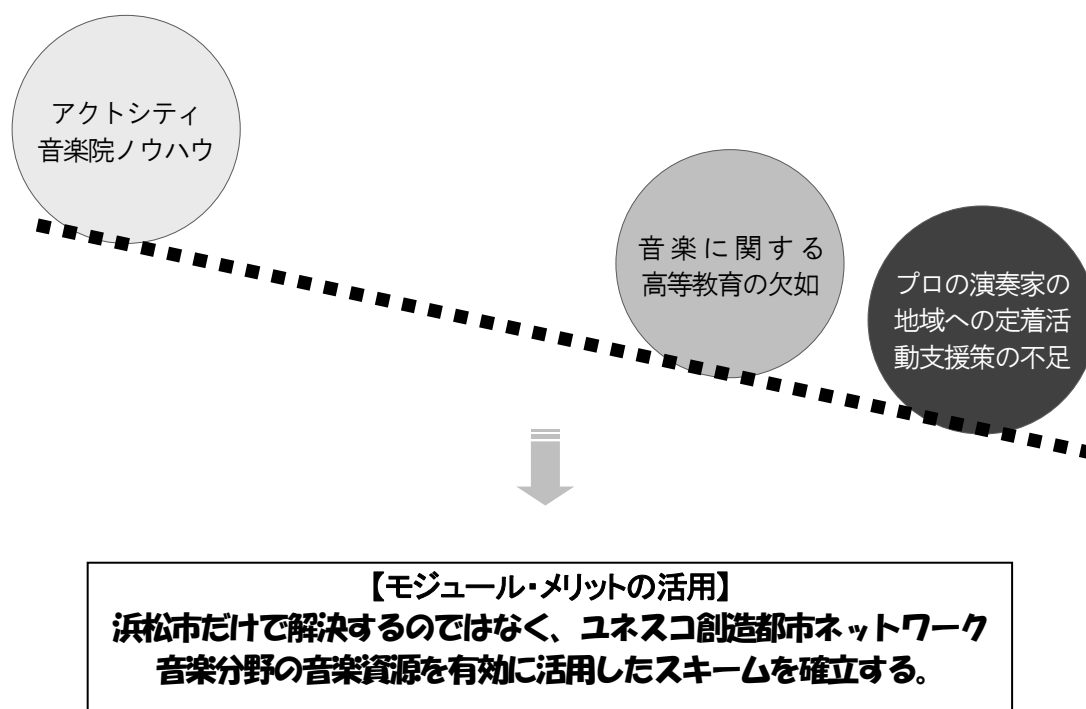
## 1. 現状と課題

アクトシティ音楽院において管楽器、ピアノのアカデミーを開催し、ハイレベルの演奏者の育成に取り組んでいる。

音楽大学の設置等は実現までのハードルが高い。

吹奏楽は盛んであるが、プロ演奏家の受け皿となる常設のプロオーケストラは存在せず。

音楽分野の創造都市では、アーティスト・イン・レジデンス（音楽家・演奏家等の地域への定着、地元根差した音楽活動の推進）施策を重要視しているが、浜松市ではプロフェッショナルな演奏家の地域での活動を支援するスキームが不足し、高度音楽人材の定着が図られにくい。



## たとえば……

## ・ボローニャ市との連携

ボローニャ音楽院、イモラ音楽院等と連動したピアノ教育

## ・ハノーバー市との連携

ハノーバー演劇音楽大学と連動したの弦楽器教育

……などの研究

## 2. 事業モデルの参考事例 「ハノーバー市との連携による弦楽器アカデミー（案）」

たとえば、モデルケースのひとつとして、ハノーバー市との連携を考えてみた場合

### (1) 事業目的

課題を克服し、浜松市の音楽文化の高度化を図るために、ユネスコ創造都市ネットワークの音楽分野の各都市が有する音楽高等教育機関と連携した高度音楽人材の育成を図る事業を推進する。加盟都市の協力をいただき各都市の音楽資源を有効に活用することは、本市がユネスコ創造都市ネットワークへの加盟を果たした一つの成果であり実績づくりにもつなげていくことができる。

具体的には加盟都市のうちハノーバー市との連携事業を進める。ハノーバー市は「ハノーバー国際ヴァイオリンコンクール」を3年に一度開催するなど弦楽器に関する国際コンクール事業を実施し、かつ、ハノーバー演劇音楽大学における高等教育機関を有することから、同市との連携事業を進めることにより、本市の課題解決に向けた有効な取り組みが可能になる。

### (2) 事業内容（案）

#### 弦楽器アーティスト交流研修事業

専門教育を受け浜松市での演奏会の開催など地域活動実績を有する弦楽器奏者をハノーバー演劇音楽大学等へ派遣する。ハノーバー市での短期研修プログラムにより演奏技術の向上を図ると共にハノーバー市の演奏家たちとの交流を進める。

- 交流研修事業で派遣する弦楽器奏者の条件
  - ・ 専門教育を受けた弦楽器奏者
  - ・ 浜松市においてプロの演奏者としての活動実績を有する者

#### ② 弦楽器セミナー開催事業

弦楽器文化の振興と高度な演奏家の育成を目指し、ハノーバー市のノウハウを活用しアクトシティ音楽院で弦楽器に関する人材育成プログラムを実施する。

特任講師としてはハノーバー演劇音楽大学等から招聘する。受講生への指導補助やコミュニティ事業における指導者については、アーティスト交流研修事業でハノーバー市へ派遣した弦楽器奏者に担っていただく。

#### 弦楽器アンサンブル普及拡大事業

弦楽器の魅力を市民に広く知っていただき弦楽合奏ファンの拡大を図るため、弦楽器アンサンブルによる室内合奏のコンサートを実施する。

これにより、市民の弦楽器ファンの拡大と地域に根差したプロフェッショナルな演奏家の活躍の場の拡大を図る。

## 浜松弦楽器アカデミー開催事業

